

日野市公営企業会計決算審査意見書



日 監 第 5 5 号

平成27年(2015年)8月24日

日 野 市 長

大 坪 冬 彦 様

日野市監査委員 石 田 等

日野市監査委員 池 田 利 恵

**平成26年度日野市公営企業会計決算
審査意見について**

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第30条第2項の規定に基づき、
審査に付された平成26年度日野市立病院事業会計決算報告書、財務諸表及び関
係書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第 1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第 2	審査の結果	2
1	決算諸表について	2
2	経営状況について	2
(1)	収益的収入及び支出について	2
(2)	経営成績について	6
(3)	薬品及び貯蔵品について	1 2
3	資本的収入及び支出について	1 3
(1)	資本的収支状況について	1 3
(2)	建設改良工事について	1 4
(3)	有形固定資産の購入状況について	1 4
4	財政状況について	1 5
第 3	意見・要望等	2 0
参考		2 3

注 記

- イ 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。
そのため、合計等と符合しない場合がある。
- ロ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- ハ 構成比については、内訳の計が100.0%とならない場合がある。

平成26年度日野市公営企業会計決算 審 査 意 見 書

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成26年度日野市立病院事業会計決算

2 審査の期間

平成27年6月9日から平成27年8月4日まで

3 審査の手続

この審査にあたっては、市長から審査に付された決算関係書類が、公営企業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、諸会計帳票及び証書類との照合等、通常実施すべき手続により審査した。

なお、事業が経済性及び公共性の特質を生かしているかどうかを主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

2 経営状況について

(1) 収益的収入及び支出について

ア 病院事業収益は、表1に示すとおりである。

◎病院事業収益は、78億9,043万5千円で前年度77億4,262万4千円と比べ、1億4,781万円(1.9%)の増加となっている。

○医業収益は、66億636万円で前年度65億860万3千円と比べ、9,775万7千円(1.5%)の増加となっている。

・内訳は、入院収益41億9,282万7千円で前年度42億1,418万円と比べ、2,135万3千円(0.5%)の減少、外来収益21億6,610万5千円で前年度20億4,638万4千円と比べ、1億1,972万1千円(5.9%)の増加、その他医業収益2億4,742万8千円で前年度2億4,804万円と比べ、61万1千円(0.2%)の減少となっている。

○医業外収益は、12億8,306万4千円で前年度12億2,178万4千円と比べ、6,128万円(5.0%)の増加となっている。

・主なものは、国庫補助金166万1千円で前年度113万2千円と比べ52万9千円(46.7%)の増加、都補助金3億9,844万円で前年度3億9,607万9千円と比べ、236万1千円(0.6%)の増加、負担金交付金5億5,133万8千円で前年度6億2,278万5千円と比べ、7,144万7千円(11.5%)の減少、その他医業外収益1億3,291万7千円で前年度1億2,990万9千円と比べ、300万8千円(2.3%)の増加、他会計補助金は6,900万円で前年度7,166万3千円と比べ、266万3千円(3.7%)の減少、長期前受金戻入は1億2,946万4千円で皆増となっている。

○特別利益は、101万1千円で前年度1,223万7千円と比べ、1,122万6千円(91.7%)の減少となっている。

表1

病院事業収益年度比較表

(単位：円：%)

区 分 科 目	平成26年度		平成25年度		対前年度	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	増減額 (A) - (B)	比率
病院事業収益	7,890,434,519	100.0	7,742,624,459	100.0	147,810,060	1.9
医業収益	6,606,359,529	83.7	6,508,602,848	84.1	97,756,681	1.5
入院収益	4,192,826,706	53.1	4,214,179,552	54.4	△ 21,352,846	△ 0.5
外来収益	2,166,104,510	27.5	2,046,383,768	26.4	119,720,742	5.9
その他 医業収益	247,428,313	3.1	248,039,528	3.2	△ 611,215	△ 0.2
医業外収益	1,283,064,022	16.3	1,221,784,149	15.8	61,279,873	5.0
受取利息 及び配当金	244,031	0.0	216,191	0.0	27,840	12.9
国庫補助金	1,661,000	0.0	1,132,000	0.0	529,000	46.7
都補助金	398,440,000	5.0	396,079,000	5.1	2,361,000	0.6
負担金交付金	551,338,000	7.0	622,785,000	8.0	△ 71,447,000	△ 11.5
その他 医業外収益	132,916,547	1.7	129,908,958	1.7	3,007,589	2.3
他会計補助金	69,000,000	0.9	71,663,000	0.9	△ 2,663,000	△ 3.7
長期前受金戻入	129,464,444	1.6	0	0.0	129,464,444	皆増
特別利益	1,010,968	0.0	12,237,462	0.2	△ 11,226,494	△ 91.7
過年度 損益修正益	1,010,968	0.0	237,462	0.0	773,506	325.7
その他 特別利益	0	0.0	12,000,000	0.2	△ 12,000,000	皆減

イ 病院事業費用は、表2に示すとおりである。

◎病院事業費用は、84億5,706万6千円で前年度77億8,231万6千円と比べ、6億7,475万円(8.7%)の増加となっている。

○医業費用は、81億198万6千円で前年度75億8,685万1千円と比べ、5億1,513万6千円(6.8%)の増加となっている。

・主なものは、給与費39億1,894万7千円で前年度36億7,602万4千円と比べ、2億4,292万4千円(6.6%)の増加、材料費17億911万5千円で前年度15億6,051万5千円と比べ、1億4,860万円(9.5%)の増加、経費15億6,968万3千円で前年度17億4,327万9千円と比べ、1億7,359万6千円(10.0%)の減少、減価償却費8億6,529万1千円で前年度5億7,951万9千円と比べ、2億8,577万2千円(49.3%)の増加、資産減耗費1,668万4千円で前年度659万2千円と比べ、1,009万3千円(153.1%)の増加、研究研修費2,226万6千円で前年度2,092万2千円と比べ134万3千円(6.4%)の増加となっている。

○医業外費用は、1億7,878万円で前年度1億8,285万3千円と比べ、407万2千円(2.2%)の減少となっている。

・主なものは、支払利息1億6,319万2千円で前年度1億7,071万7千円と比べ、752万5千円(4.4%)の減少、消費税及び地方消費税1,558万9千円で前年度1,213万6千円と比べ345万3千円(28.5%)の増加となっている。

○特別損失は、1億7,629万9千円で前年度1,261万2千円と比べ、1億6,368万7千円(1,297.8%)の増加となっている。

・内訳は、過年度損益修正損で前年度61万2千円と比べ、1億7,568万7千円(28,692.9%)の増加となっている。

表 2

病院事業費用年度比較表

(単位：円：%)

区 分 科 目	平成 2 6 年度		平成 2 5 年度		対 前 年 度	
	決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比	増 減 額 (A) - (B)	比 率
病院事業費用	8,457,065,997	100.0	7,782,315,600	100.0	674,750,397	8.7
医業費用	8,101,986,467	95.8	7,586,850,509	97.5	515,135,958	6.8
給与費	3,918,947,444	46.3	3,676,023,508	47.2	242,923,936	6.6
材料費	1,709,114,874	20.2	1,560,514,759	20.1	148,600,115	9.5
経費	1,569,683,305	18.6	1,743,279,028	22.4	△ 173,595,723	△ 10.0
減価償却費	865,291,040	10.2	579,519,221	7.4	285,771,819	49.3
資産減耗費	16,684,240	0.2	6,591,676	0.1	10,092,564	153.1
研究研修費	22,265,564	0.3	20,922,317	0.3	1,343,247	6.4
医業外費用	178,780,496	2.1	182,852,791	2.3	△ 4,072,295	△ 2.2
支払利息	163,191,996	1.9	170,717,191	2.2	△ 7,525,195	△ 4.4
消費税及び 地方消費税	15,588,500	0.2	12,135,600	0.2	3,452,900	28.5
特別損失	176,299,034	2.1	12,612,300	0.2	163,686,734	1,297.8
過年度 損益修正損	176,299,034	2.1	612,300	0.0	175,686,734	28,692.9
その他 特別損失	0	0.0	12,000,000	0.2	△ 12,000,000	皆減

ウ 診療報酬の請求と審査減の状況は、表3に示すとおりである。

病院事業収益の中心は診療報酬であり、診療機関が保険者（社会保険診療報酬支払基金等）に請求し、審査委員会の審査を経て収入されるものであるが、審査委員会の査定により減点されることがある。なお、審査減については、見直し後再請求している。

表3

年度別診療報酬請求と審査減の状況

入院

区分		平成26年度	平成25年度	平成24年度
請求	件数	8,716	8,721	8,503
	点数	419,496,030	422,654,210	408,116,854
審査減	件数	648	490	429
	点数	651,539	561,388	697,491
請求に対する 審査減の割合(%)	件数	7.4	5.6	5.0
	点数	0.16	0.13	0.17

外来

区分		平成26年度	平成25年度	平成24年度
請求	件数	152,372	151,251	120,889
	点数	216,793,899	204,385,765	201,054,511
審査減	件数	2,245	1,668	2,644
	点数	596,074	362,064	561,597
請求に対する 審査減の割合(%)	件数	1.5	1.1	2.2
	点数	0.27	0.18	0.28

(2) 経営成績について

ア 比較損益計算書（税抜き）は、表4に示すとおりである。

- ・ 医業損失は、12億7,476万円で前年度9億6,866万8千円と比べ3億609万2千円（31.6%）の増加となっている。
- ・ 経常損失は、3億9,134万3千円で前年度3,933万3千円と比べ、3億5,201万円（894.9%）の増加となっている。
- ・ 当年度純損失は、5億6,663万1千円で前年度3,969万1千円と比べ、5億2,694万円（1,327.6%）の増加となっている。

表4

比較損益計算書

(単位：円：%)

科 目	平成26年度			平成25年度		平成24年度
	金 額	対前年度		金 額	対前年度 比率	金 額
		増減額	比率			
医業収益(A)	6,585,658,911	90,295,282	1.4	6,495,363,629	3.4	6,279,660,158
入院収益	4,192,681,748	△ 21,211,226	△ 0.5	4,213,892,974	3.4	4,073,448,414
外来収益	2,163,467,446	118,482,458	5.8	2,044,984,988	3.0	1,985,722,117
その他医業収益	229,509,717	△ 6,975,950	△ 2.9	236,485,667	7.3	220,489,627
医業費用(B)	7,860,418,924	396,387,311	5.3	7,464,031,613	4.7	7,130,576,470
給与費	3,916,829,055	242,125,715	6.6	3,674,703,340	2.0	3,602,157,820
材料費	1,582,513,823	62,900,210	4.1	1,519,613,613	6.9	1,421,086,916
経費	1,458,436,669	△ 205,240,664	△ 12.3	1,663,677,333	9.2	1,523,846,919
減価償却費	865,291,040	285,771,819	49.3	579,519,221	4.6	554,083,944
資産減耗費	16,684,240	10,092,564	153.1	6,591,676	△ 41.7	11,305,527
研究研修費	20,664,097	737,667	3.7	19,926,430	10.1	18,095,344
医業損益(C)=(A)-(B)	△ 1,274,760,013	△ 306,092,029	31.6	△ 968,667,984	13.8	△ 850,916,312
医業外収益(D)	1,275,570,176	58,600,807	4.8	1,216,969,369	17.4	1,036,272,643
受取利息及び配当金	244,031	27,840	12.9	216,191	15.6	187,037
国庫補助金	1,661,000	529,000	46.7	1,132,000	△ 61.6	2,949,000
都補助金	398,440,000	2,361,000	0.6	396,079,000	△ 8.5	432,977,000
負担金交付金	551,338,000	△ 71,447,000	△ 11.5	622,785,000	26.6	491,927,000
その他医業外収益	125,422,701	328,523	0.3	125,094,178	15.6	108,232,606
他会計補助金	69,000,000	△ 2,663,000	△ 3.7	71,663,000	皆増	0
長期前受金戻入	129,464,444	129,464,444	皆増	0	0.0	0
医業外費用(E)	392,153,630	104,518,960	36.3	287,634,670	△ 6.6	307,811,869
支払利息	163,191,996	△ 7,525,195	△ 4.4	170,717,191	0.7	169,554,941
消費税	15,588,500	3,452,900	28.5	12,135,600	30.7	9,284,200
雑損失	213,373,134	108,591,255	103.6	104,781,879	△ 18.8	128,972,728
医業外損益(F)=(D)-(E)	883,416,546	△ 45,918,153	△ 4.9	929,334,699	27.6	728,460,774
経常損益(G)=(C)+(F)	△ 391,343,467	△ 352,010,182	894.9	△ 39,333,285	△ 67.9	△ 122,455,538
特別利益(H)	983,274	△ 11,254,188	△ 92.0	12,237,462	574.5	1,814,362
過年度損益修正益	983,274	745,812	314.1	237,462	△ 86.9	1,814,362
その他特別利益	0	△ 12,000,000	皆減	12,000,000	皆増	0
特別損失(I)	176,271,285	163,675,967	1,299.5	12,595,318	484.6	2,154,618
過年度損益修正損	176,271,285	175,675,967	29,509.6	595,318	△ 72.4	2,154,618
その他特別損失	0	△ 12,000,000	皆減	12,000,000	皆増	0
特別損益(J)=(H)-(I)	△ 175,288,011	△ 174,930,155	48,882.8	△ 357,856	5.2	△ 340,256
当年度純損益(K)=(G)+(J)	△ 566,631,478	△ 526,940,337	1,327.6	△ 39,691,141	△ 67.7	△ 122,795,794
前年度繰越利益剰余金	△ 7,069,923,954	△ 39,691,141	0.6	△ 7,030,232,813	1.8	△ 6,907,437,019
その他未処分利益剰余金変動額	△ 382,711,798	△ 382,711,798	皆減	0	0.0	0
当年度未処分欠損金	8,019,267,230	949,343,276	13.4	7,069,923,954	0.6	7,030,232,813

イ 病院利用状況は、表5に示すとおりである。

表5

病院利用状況等年度比較表

区 分			平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度 増減率 (%)	備 考	
病 床 数			床 300	床 300	床 300	0.0		
病 床 利 用 率			% 79.3	% 80.7	% 80.1	△ 1.4	(A) / 年延病床数 × 100	
患 者 数	入 院	年 間	人 86,882	人 88,325	人 87,705	△ 1.6	年延入院患者数 (A)	
		一 日 平 均	人 238	人 242	人 240.3	△ 1.7	(A) / 入院診療日数 (B)	
	外 来	年 間	人 204,700	人 202,879	人 207,342	0.9	年延外来患者数 (C)	
		一 日 平 均	人 838.9	人 831.5	人 846.3	0.9	(C) / 外来診療日数 (D)	
	合 計	年 間	人 291,582	人 291,204	人 295,047	0.1		
		一 日 平 均	人 1,076.9	人 1,073.5	人 1,086.6	0.3		
	外 来 ・ 入 院 患 者 比			% 235.6	% 229.7	% 236.4	5.9	(C) / (A) × 100
	職 員 一 人 当 た り 患 者 数	医 師	入 院	人 4.9	人 4.9	人 5.1	0.0	(A) / 年延医師数
			外 来	人 11.4	人 11.3	人 12.2	0.9	(C) / 年延医師数
		看 護 部 門 職 員	入 院	人 1.2	人 1.2	人 1.3	0.0	(A) / 年延看護部門職員数
外 来			人 2.8	人 2.9	人 3.0	△ 3.4	(C) / 年延看護部門職員数	
対 医 業 収 益 比	材 料 費	薬 品 費	% 15.0	% 13.6	% 13.6	1.4	薬品費 / 医業収益 × 100	
		診 療 材 料 費	% 9.9	% 9.5	% 9.1	0.4	診療材料費 / 医業収益 × 100	
		そ の 他 医 療 材 料 費	% 0.9	% 0.9	% 0.9	0.0	その他医療材料費 / 医業収益 × 100	
		合 計	% 25.8	% 24.0	% 23.6	1.8	医療材料費 / 医業収益 × 100	
	給 与 費		% 59.3	% 56.5	% 57.3	2.8	給与費 / 医業収益 × 100	

ウ 診療科別利用状況は、入院(表6)、外来(表7)に示すとおりである。

表6

診療科別利用状況年度比較表

入 院

(単位：人：％：点)

区 分 科 別	平成26年度				平成25年度				対前年度 延患者数 増減率
	延患者数	構成比	収入点数	構成比	延患者数	構成比	収入点数	構成比	
内 科	28,134	32.4	109,906,067.6	26.2	27,710	31.4	110,432,477.7	26.2	1.5
循 環 器 科	7,715	8.9	40,513,439.9	9.7	8,300	9.4	47,297,241.7	11.2	△ 7.0
小 児 科	4,100	4.7	18,804,385.0	4.5	4,417	5.0	19,872,182.8	4.7	△ 7.2
外 科	15,870	18.3	89,727,930.5	21.4	16,498	18.7	92,634,762.4	22.0	△ 3.8
整 形 外 科	16,384	18.9	84,413,248.6	20.1	17,764	20.1	83,068,202.5	19.7	△ 7.8
脳 神 経 外 科	1,949	2.2	11,468,453.1	2.7	1,637	1.9	7,967,763.1	1.9	19.1
皮 膚 科	1,356	1.6	4,497,124.5	1.1	593	0.7	2,333,257.2	0.6	128.7
泌 尿 器 科	3,405	3.9	14,264,597.2	3.4	3,223	3.6	13,544,663.9	3.2	5.6
産 婦 人 科	4,584	5.3	24,996,798.0	6.0	5,304	6.0	28,628,653.1	6.8	△ 13.6
眼 科	1,546	1.8	9,948,620.4	2.4	1,592	1.8	9,259,562.5	2.2	△ 2.9
耳 鼻 咽 喉 科	1,494	1.7	8,475,574.1	2.0	985	1.1	5,086,356.9	1.2	51.7
歯 科 口 腔 外 科	279	0.3	1,353,219.3	0.3	239	0.3	1,046,313.6	0.2	16.7
放 射 線 科	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻 酔 科	66	0.1	913,212.4	0.2	63	0.1	246,517.8	0.1	4.8
合 計	86,882	100.0	419,282,670.6	100.0	88,325	100.0	421,417,955.2	100.0	△ 1.6

表 7

診療科別利用状況年度比較表

外 来

(単位：人：%：点)

区 分 科 別	平成26年度				平成25年度				対前年度 延患者数 増減率
	延患者数	構成比	収入点数	構成比	延患者数	構成比	収入点数	構成比	
内 科 (透析含む)	52,834	25.8	78,755,221.7	36.4	50,126	24.7	74,543,893.1	36.4	5.4
循 環 器 科	10,848	5.3	12,443,084.8	5.7	10,473	5.2	11,204,427.1	5.5	3.6
小 児 科	11,458	5.6	9,842,254.4	4.5	11,165	5.5	8,715,222.3	4.3	2.6
外 科	16,127	7.9	40,199,382.0	18.6	15,170	7.5	33,413,686.9	16.3	6.3
整 形 外 科	29,937	14.6	17,116,826.8	7.9	30,986	15.3	17,717,870.5	8.7	△ 3.4
脳 神 経 外 科	3,529	1.7	3,514,429.5	1.6	3,671	1.8	3,320,939.5	1.6	△ 3.9
皮 膚 科	13,894	6.8	4,826,064.7	2.2	12,952	6.4	4,524,509.2	2.2	7.3
泌 尿 器 科	15,257	7.5	15,523,150.4	7.2	14,645	7.2	15,429,113.2	7.5	4.2
産 婦 人 科	8,145	4.0	8,846,147.1	4.1	11,722	5.8	9,197,963.2	4.5	△ 30.5
眼 科	9,307	4.5	5,961,744.8	2.8	9,492	4.7	6,262,211.3	3.1	△ 1.9
耳 鼻 咽 喉 科	12,702	6.2	8,213,682.7	3.8	12,787	6.3	8,972,796.3	4.4	△ 0.7
精 神 科	3,654	1.8	2,062,668.2	1.0	3,480	1.7	1,997,460.7	1.0	5.0
歯 科 口 腔 外 科	10,265	5.0	5,563,070.5	2.6	9,691	4.8	5,873,167.0	2.9	5.9
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	2,967	1.4	1,343,491.3	0.6	2,606	1.3	1,055,916.5	0.5	13.9
放 射 線 科	227	0.1	641,699.6	0.3	174	0.1	485,076.8	0.2	30.5
麻 酔 科	3,549	1.7	1,757,532.5	0.8	3,739	1.8	1,924,123.2	0.9	△ 5.1
合 計	204,700	100.0	216,610,451.0	100.0	202,879	100.0	204,638,376.8	100.0	0.9

エ 職員配置状況は、表 8 に示すとおりである。

表 8

職員配置状況年度末比較表

(単位：人)

年度 区分	平成 2 6 年度	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	対前年度増減
医 師	49	49	46	0
看 護 職 員	198	188	190	10
医 療 技 術 職 員	51	43	45	8
事 務 職 員	21	22	23	△ 1
そ の 他 の 職 員	0	0	0	0
合 計	319	302	304	17

- ・当年度末職員総数は、319人で前年度末302人と比べ、17人(5.6%)の増加となっている。
- ・当年度末医師数は、49人で前年度末と同一である。
- ・当年度末看護職員数は、198人で前年度末188人と比べ、10人(5.3%)の増加となっている。
- ・当年度末医療技術職員数は、51人で前年度末43人と比べ、8人(18.6%)の増加となっている。
- ・当年度末事務職員は、21人で前年度末22人と比べ、1人(4.5%)の減少となっている。

注 看護職員：助産師、看護師、准看護師

医療技術職員：薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、栄養士

その他の職員：用務員

(3) 薬品及び貯蔵品について

ア 薬品使用効率は、表9に示すとおりである。

- ・薬品使用効率は、65.8%で前年度65.7%と比べ、0.1ポイントの増加となっている。
- ・投薬薬品使用効率は、63.1%で前年度61.6%と比べ、1.5ポイントの増加となっている。
- ・注射薬品使用効率は、66.5%で前年度と同一である。

表9

薬品使用効率年度比較表

(単位：%)

区 分 \ 年 度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	備 考
薬品使用効率	65.8	65.7	62.7	投薬注射薬品収入／ 投薬注射薬品費×100
投薬薬品使用効率	63.1	61.6	62.9	投薬薬品収入／ 投薬薬品費×100
注射薬品使用効率	66.5	66.5	62.6	注射薬品収入／ 注射薬品費×100

イ 薬品の管理について

薬品の管理は、入庫から出庫まで薬品管理システムで記録し事務の迅速化が図られ、毒薬、劇薬等は薬事法に基づき普通薬品と明確に区別して保管されており、良好な管理下にあるものと認められた。

ウ 貯蔵品額等の年度比較は次のとおりである。

- ・貯蔵品額は、薬品3,350万9千円で前年度4,719万円と比べ、1,368万1千円(29.0%)の減少となっている。
- ・資産減耗費のうち棚卸資産減耗費は、272万7千円で前年度180万4千円と比べ、92万3千円(51.2%)の増加となっている。

3 資本的収入及び支出について

(1) 資本的収支状況について

ア 資本的収支状況は、表10に示すとおりである。

- ・資本的収入は、3億8,439万9千円で前年度3億4,702万5千円と比べ3,737万4千円(10.8%)の増加となっている。
- ・資本的支出は、10億479万円で前年度7億7,041万3千円と比べ、2億3,437万6千円(30.4%)の増加となっている。

イ 資本的収入を項別にみると、次のとおりである。

- ・都補助金は、7,549万円で前年度8,561万8千円と比べ、1,012万8千円(11.8%)の減少となっている。
- ・出資金は、1億4,866万2千円で前年度1億6,939万2千円と比べ2,073万円(12.2%)の減少となっている。
- ・寄附金は、23万4千円で前年度10万円と比べ13万4千円(134.3%)の増加となっている。
- ・企業債は、8,000万円で前年度8,900と比べ、900万円(10.1%)の減少となっている。
- ・他会計補助金は、8,000万円で前年度290万1千円と比べ、7,709万9千円(2,657.7%)の増加となっている。

ウ 資本的支出を項別にみると、次のとおりである。

- ・建設改良費は、4億493万9千円で前年度2億2,302万円と比べ、1億8,191万8千円(81.6%)の増加となっている。
- ・助産師、看護師貸付金は、457万円で前年度543万円と比べ、86万円(15.8%)の減少となっている。
- ・企業債償還金は、4億7,647万4千円で前年度4億2,469万5千円と比べ、5,177万9千円(12.2%)の増加となっている。
- ・基金積立金は、24万7千円で前年度11万4千円と比べ、13万3千円(116.9%)の増加となっている。
- ・他会計からの長期借入金償還金は、1億1,856万円で前年度1億1,715万4千円と比べ、140万6千円(1.2%)の増加となっている。

表10

資本的収支状況年度比較表

(単位：円：%)

区 分 科 目	平成26年度		平成25年度		対前年度	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	増減額 (A) - (B)	比率
資本的収入	384,399,117	100.0	347,024,926	100.0	37,374,191	10.8
都補助金	75,490,000	19.6	85,618,000	24.7	△ 10,128,000	△ 11.8
出資金	148,662,000	38.7	169,392,000	48.8	△ 20,730,000	△ 12.2
寄附金	234,270	0.1	100,000	0.0	134,270	134.3
基金積立金 利息	12,847	0.0	13,926	0.0	△ 1,079	△ 7.7
企業債	80,000,000	20.8	89,000,000	25.6	△ 9,000,000	△ 10.1
他会計補助金	80,000,000	20.8	2,901,000	0.8	77,099,000	2,657.7
他会計からの 長期借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0

資本的支出	1,004,789,709	100.0	770,413,418	100.0	234,376,291	30.4
建設改良費	404,938,646	40.3	223,020,235	28.9	181,918,411	81.6
助産師、看護 師貸付金	4,569,554	0.5	5,430,000	0.7	△ 860,446	△ 15.8
企業債償還金	476,474,188	47.4	424,694,905	55.1	51,779,283	12.2
基金積立金	247,117	0.0	113,926	0.0	133,191	116.9
他会計からの長期 借入金償還金	118,560,204	11.8	117,154,352	15.2	1,405,852	1.2

エ 企業債償還状況は、表11に示すとおりである。

表11

企業債償還状況

(単位：円)

発行総額	償 還 額		平成26年度末 現 在 高
	当年度償還額	償還額累計	
10,970,700,000	476,474,188	3,191,159,969	7,779,540,031

(2) 建設改良工事について

当年度建設改良工事はなかった。

(3) 有形固定資産の購入状況について

有形固定資産購入状況は、表12に示すとおりである。

医療器械等購入費は、1億5,194万2千円で前年度2億2,302万円と比べ、7,107万9千円(31.9%)の減少となっている。

表12

有形固定資産購入状況表（1機100万円以上）

品名	数量	メーカー・規格	購入額（円）	設置場所	納入年月日
MR I オーディオシステム	1	GEヘルスケア・ジャパン iMa gシリーズ	1,100,000	放射線技術科	H26.6.16
超音波画像診断装置	1	GEヘルスケア・ジャパン Voluson P8	7,020,000	産婦人科	H26.6.24
ビデオスコープ	1	オリンパスメディカルサイエンス販売 ENF-V3ほか	4,579,200	耳鼻咽喉科	H26.6.30
温冷配膳車	2	パナソニックヘルスケア デリカートG3 CD1328H	4,168,800	栄養科	H26.7.24
光干渉断層計	1	ニデック RS-3000 Advance	11,340,000	眼科	H26.7.24
超音波画像診断装置	1	東芝メディカルシステムズ Aplio300	12,960,000	外科	H26.8.26
皮膚良性色素性疾患治療 用レーザー装置	1	キャンデラ ALEX LAZR	8,618,400	皮膚科	H26.8.28
手術室照明器	1	マッケ・ジャパン VOLISTA600DF	5,794,200	整形外科 (手術室)	H26.10.3
頭部固定装置	1	欧和通商 ウルトラベースユニット (マックタイプ)	1,512,000	脳神経外科 (手術室)	H26.11.20
ベットパンウォッシャー	1	小川医理器 TOPLINE TP20.2AP/AT	1,591,596	看護部 (6西病棟)	H26.12.11
超音波手術器 SONOPET	1	日本ストライカー UST-2001コンソールキット IVポール付	9,288,000	外科 (手術室)	H26.12.25
X線透視装置	1	東芝メディカルシステムズ デジタルX線TVシステムZEXIRA DREX-ZX80	32,130,000	放射線技術科	H27.1.7
ベットパンウォッシャー	1	小川医理器 TOPLINE TP20.2AP/AT	1,591,596	看護部 (6東病棟)	H27.1.28
アダプター一体型小型カメラヘッド	1	利ハス OTV-S7H-ID-LOSE	1,105,380	泌尿器科 (手術室)	H27.2.18
ハイスピードドリル	1	日本メドトロニック Midax Rex (気動式)	5,400,000	整形外科 (手術室)	H27.2.27
自動精算機	1	グローリー FHP-20L	17,253,000	1階会計窓口	H27.2.28
MR造影インジェクター	1	根本杏林堂 ソニックショット7GXスタンド	2,916,000	放射線技術科	H27.3.4
手術記録システム	1	オリンパス MFS-SHDD/RHD-UX500カート/CMMR003	1,149,076	耳鼻咽喉科 (手術室)	H27.3.20
回診用X線撮影装置	1	日立 AeroDR/CS-7 Portableシステム	5,184,000	放射線技術科	H27.3.24
定位脳手術装置	1	日本メドトロニック Vertek パッシブバイオブシーキット	1,293,840	脳神経外科 (手術室)	H27.3.27
ビルメーター	1	アトムメディカル ビルメーターF (ビルルビン分析装置)	1,371,600	小児科	H27.3.31

4 財政状況について

病院事業の財政状況は、表13に示すとおりである。

(1) 資産総額は、96億7,295万2千円で前年度112億7,659万9千円と比べ、16億364万8千円（14.2%）の減少となっている。

ア 固定資産は、77億8,969万2千円で前年度91億5,078万1千円と比べ、13億6,108万9千円（14.9%）の減少となっている。

(ア) 有形固定資産は、77億1,982万8千円で前年度90億8,443万3千円と比べ、13億6,460万6千円（15.0%）の減少となってい

る。内訳は、立木・建物・構築物は、前年度と同額である。器械備品は、35億625万7千円で前年度36億793万5千円と比べ、1億167万8千円（2.8%）の減少、リース資産は、11億665万4千円で皆増である。なお、償却資産は、減価償却を行っている。

(イ) 無形固定資産は、10万2千円で前年度と同額である。

イ 流動資産は、18億8,326万円で前年度21億2,581万8千円と比べ、2億4,255万9千円（11.4%）の減少となっている。

(ア) 現金預金は、6億6,822万6千円で前年度8億8,815万6千円と比べ、2億1,992万9千円（24.8%）の減少となっている。

(イ) 未収金は、11億7,554万8千円で前年度11億8,481万2千円と比べ、926万4千円（0.8%）の減少となっている。

(ウ) 貯蔵品は、3,350万9千円で前年度4,719万円と比べ、1,368万1千円（29.0%）の減少となっている。

(エ) 前払金は、0円で前年度と同一である。

(オ) その他流動資産は、597万6千円で前年度566万1千円と比べ、31万5千円（5.6%）の増加となっている。

ウ 繰延勘定は、0円で前年度と同一である。

(2) 負債総額は、104億8,402万6千円で前年度13億3,976万7千円と比べ、91億4,425万9千円（682.5%）の増加となっている。

ア 固定負債は、83億3,745万7千円で前年度5億8,245万8千円と比べ、77億5,499万9千円（1,331.4%）の増加となっている。

(ア) 企業債は、72億7,292万7千円で皆増である。

(イ) 他会計借入金は、2億4,430万3千円で前年度4億8,284万6千円と比べ、2億3,854万3千円（49.4%）の減少となっている。

(ウ) リース債務は、6億4,807万2千円で皆増である。

(エ) 退職給与引当金は、1億670万5千円で前年度3,416万2千円と比べ、7,254万3千円（212.3%）の増加となっている。

(オ) 修繕引当金は、6,545万円で前年度と同額である。

イ 流動負債は、17億1,032万6千円で前年度7億5,730万9千円と比べ、9億5,301万7千円（125.8%）の増加となっている。

(ア) 企業債は、5億661万3千円で皆増である。

(イ) 他会計借入金は、1億1,998万3千円で皆増である。

- (ウ) リース債務は、2億558万5千円で皆増である。
- (エ) 未払金は、6億7,509万5千円で前年度7億5,136万7千円と比べ、7,627万2千円(10.2%)の減少となっている。
- (オ) 医業前受金は、554万8千円で前年度463万3千円と比べ、91万5千円(19.7%)の増加となっている。
- (カ) 賞与引当金は、1億9,578万円で皆増である。
- (ク) その他流動負債は、172万3千円で前年度130万9千円と比べ、41万4千円(31.6%)の増加となっている。
- (3) 資本総額は、△8億1,107万4千円で前年度99億3,683万3千円と比べ、107億4,790万7千円(108.2%)の減少となっている。
- ア 資本金は、71億5,654万円で前年度151億8,099万1千円と比べ、80億2,445万1千円(52.9%)の減少となっている。
- (ア) 自己資本金は、71億5,654万円で前年度70億497万7千円と比べ、1億5,156万3千円(2.2%)の増加となっている。
- (イ) 借入資本金は、前年度81億7,601万4千円から皆減となっている。
- イ 剰余金は、△79億6,761万5千円で前年度△52億4,415万9千円と比べ、27億2,345万6千円(51.9%)の減少となっている。
- (ア) 資本剰余金は、5,165万3千円で前年度18億2,576万5千円と比べ、17億7,411万2千円(97.2%)の減少となっている。
- 国庫補助金、都補助金、他会計補助金、その他資本剰余金は、いずれも皆減となっている。
- (イ) 欠損金は、80億1,926万7千円で前年度70億6,992万4千円と比べ、9億4,934万3千円(13.4%)の増加となっている。

表13

比較貸借

科 目	借					方				
	平成26年度					平成25年度			平成24年度	
	金 額	構成比	対前年度		金 額	構成比	対前年度 比率	金 額	構成比	
			増減額	比率						
固定資産	7,789,692,097	80.5	△ 1,361,088,839	△ 14.9	9,150,780,936	81.1	△ 4.4	9,568,534,302	84.2	
有形固定資産	7,719,827,652	79.8	△ 1,364,605,510	△ 15.0	9,084,433,162	80.6	△ 4.4	9,506,991,374	83.6	
土地	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
立木	34,986,000	0.4	0	0.0	34,986,000	0.3	0.0	34,986,000	0.3	
建物	12,156,289,428	125.7	0	0.0	12,156,289,428	107.8	0.0	12,156,289,428	106.9	
構築物	113,258,350	1.2	0	0.0	113,258,350	1.0	0.0	113,258,350	1.0	
器械備品	3,506,256,918	36.2	△ 101,678,461	△ 2.8	3,607,935,379	32.0	2.2	3,529,135,769	31.0	
リース資産	1,106,653,654	11.4	1,106,653,654	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
減価償却 累計額	9,197,616,698	△ 95.1	2,369,580,703	34.7	6,828,035,995	△ 60.6	7.9	6,326,678,173	△ 55.7	
無形固定資産	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0	
電話加入権	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0	
投資	69,762,937	0.7	3,516,671	5.3	66,246,266	0.6	7.8	61,441,420	0.5	
長期貸付金	18,111,354	0.2	3,269,554	22.0	14,841,800	0.1	46.2	10,149,800	0.1	
基金	51,651,583	0.5	247,117	0.5	51,404,466	0.5	0.2	51,291,620	0.5	
流動資産	1,883,259,740	19.5	△ 242,558,713	△ 11.4	2,125,818,453	18.9	18.1	1,799,976,184	15.8	
現金預金	668,226,433	6.9	△ 219,929,079	△ 24.8	888,155,512	7.9	78.9	496,333,546	4.4	
未収金	1,175,548,026	12.2	△ 9,263,892	△ 0.8	1,184,811,918	10.5	△ 4.6	1,242,458,175	10.9	
貯蔵品	33,509,125	0.3	△ 13,680,742	△ 29.0	47,189,867	0.4	△ 14.7	55,301,584	0.5	
前払金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
保管有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
その他流動資産	5,976,156	0.1	315,000	5.6	5,661,156	0.1	△ 3.8	5,882,879	0.1	
繰延勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
新病院建設費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
資産合計	9,672,951,837	100.0	△ 1,603,647,552	△ 14.2	11,276,599,389	100.0	△ 0.8	11,368,510,486	100.0	

対 照 表

(単位：円：%)

科 目		貸 方									
		平成26年度				平成25年度			平成24年度		
		金 額	構成比	対前年度		金 額	構成比	対前年度 比率	金 額	構成比	
				増 減 額	比 率						
負 債 の 部	固 定 負 債	8,337,457,482	86.2	7,754,999,199	1,331.4	582,458,283	5.2	△ 16.7	699,612,635	6.2	
	企 業 債	7,272,927,273	75.2	7,272,927,273	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	他会計借入金	244,302,517	2.5	△ 238,543,131	△ 49.4	482,845,648	4.3	△ 19.5	600,000,000	5.3	
	リース債務	648,072,057	6.7	648,072,057	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	退職給与引当金	106,705,221	1.1	72,543,000	212.3	34,162,221	0.3	0.0	34,162,221	0.3	
	修繕引当金	65,450,414	0.7	0	0.0	65,450,414	0.6	0.0	65,450,414	0.6	
	流 動 負 債	1,710,325,780	17.7	953,017,244	125.8	757,308,536	6.7	36.8	553,432,361	4.9	
	企 業 債	506,612,758	5.2	506,612,758	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	他会計借入金	119,982,927	1.2	119,982,927	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	リース債務	205,584,584	2.1	205,584,584	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	未 払 金	675,094,511	7.0	△ 76,272,025	△ 10.2	751,366,536	6.7	37.2	547,453,361	4.8	
	前 受 金	5,548,000	0.1	915,000	19.7	4,633,000	0.0	△ 2.5	4,750,000	0.0	
	賞与引当金	195,780,000	2.0	195,780,000	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	その他流動負債	1,723,000	0.0	414,000	31.6	1,309,000	0.0	6.5	1,229,000	0.0	
	繰 延 収 益	436,242,931	4.5	436,242,931	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	長期前受金	436,242,931	4.5	436,242,931	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	
	負 債 合 計	10,484,026,193	108.4	9,144,259,374	682.5	1,339,766,819	11.9	6.9	1,253,044,996	11.0	
	資 本 の 部	資 本 金	7,156,540,211	74.0	△ 8,024,451,219	△ 52.9	15,180,991,430	134.6	△ 1.1	15,350,195,335	135.0
		自己資本金	7,156,540,211	74.0	151,563,000	2.2	7,004,977,211	62.1	2.4	6,838,486,211	60.2
		借入資本金	0	0.0	△ 8,176,014,219	皆減	8,176,014,219	72.5	△ 3.9	8,511,709,124	74.9
企 業 債		0	0.0	△ 8,176,014,219	皆減	8,176,014,219	72.5	△ 3.9	8,511,709,124	74.9	
剰 余 金		△ 7,967,614,567	△ 82.4	△ 2,723,455,707	51.9	△ 5,244,158,860	△ 46.5	0.2	△ 5,234,729,845	△ 46.0	
資本剰余金		51,652,663	0.5	△ 1,774,112,431	△ 97.2	1,825,765,094	16.2	1.7	1,795,502,968	15.8	
国庫補助金		0	0.0	△ 164,253,812	皆減	164,253,812	1.5	△ 21.5	209,297,237	1.8	
都補助金		0	0.0	△ 1,411,903,736	皆減	1,411,903,736	12.5	5.2	1,342,514,111	11.8	
他会計補助金		0	0.0	△ 195,301,000	皆減	195,301,000	1.7	1.5	192,400,000	1.7	
寄附金		51,395,745	0.5	234,270	0.5	51,161,475	0.5	0.2	51,061,475	0.4	
基金積立金		256,918	△ 0.0	12,847	5.3	244,071	0.0	6.1	230,145	0.0	
その他資本剰余金		0	0.0	△ 2,901,000	皆減	2,901,000	0.0	皆増	0	0.0	
欠 損 金		8,019,267,230	△ 82.9	949,343,276	13.4	7,069,923,954	△ 62.7	0.6	7,030,232,813	△ 61.8	
当年度未処理欠損金		8,019,267,230	△ 82.9	949,343,276	13.4	7,069,923,954	△ 62.7	0.6	7,030,232,813	△ 61.8	
資 本 合 計		△ 811,074,356	△ 8.4	△ 10,747,906,926	△ 108.2	9,936,832,570	88.1	△ 1.8	10,115,465,490	89.0	
負 債 資 本 合 計	9,672,951,837	100.0	△ 1,603,647,552	△ 14.2	11,276,599,389	100.0	△ 0.8	11,368,510,486	100.0		

第3 意見・要望等

平成26年度は、昨年度策定した「日野市立病院第2次改革プラン」を実行計画に基づき取組みを進め、緊急病床利用率向上事業や医療機器等の更新を行った。患者サービス向上としては、2月に1階食堂跡にコンビニエンスストアをオープンさせ、3月に自動精算機3台を導入した。また、日本医療機能評価機構の病院機能評価を再受審し、病院体制の一層の充実や医療の質の向上を図った。

しかし、純損失額は5億6,663万1千円となり、前年度3,969万1千円と比較すると5億2,694万円(1,327.6%)増加した。これは、地方公営企業会計制度が、企業会計基準との整合性を図ることを目的として46年ぶりに大改正され、今期の決算が、その新地方公営企業会計基準の適用初年度に当たるため、会計上新たに引当金等の科目を計上する必要があったことが主要因になっている。併せて、平成26年4月に消費税等が8%へ増税されたことにより、医薬品等の材料費や経費が増加したことも要因に加えられる。さらに平成29年4月には10%へ増税されることが予定されていることから、さらに損失要因が増加することが懸念される。

病院利用状況は、入院患者数8万6,882人で、前年度比1.6%減少した。病床利用率は79.3%で、前年度比1.4ポイント減少した。外来患者数は20万4,700人で、前年度比0.9%増加した。

収益的収支の状況は、病院事業収益が78億9,043万5千円で、前年度比1.9%増加した。うち医業収益は66億636万円で、前年度比1.5%増加した。医業収益のうち、入院収益は41億9,282万7千円で、前年度比0.5%減少した。外来収益は21億6,610万5千円で、前年度比5.9%増加した。増減の理由としては、入院収益は、病床利用率が1.4ポイント減少したこと、外来収益は、延患者数が前年度比1,821人増加し、1人当たり単価も前年度比495円増加したことによるものである。

病院事業費用は84億5,706万6千円で、前年度比8.7%増加した。うち医業費用は81億198万6千円で、前年度比6.8%増加した。主な医業費用の増減内訳は、給与費が6.6%の増加、材料費が9.5%の増加、経費が10.0%の減少、

減価償却費が49.3%の増加、資産減耗費が153.1%の増加となっている。

資本的収入及び支出の状況は、資本的収入が3億8,439万9千円で、前年度比10.8%増加した。うち他会計補助金は8,000万円で前年度比2,657.7%増加した。

資本的支出は10億479万円で前年度比30.4%増加した。うち建設改良費は4億493万9千円で、耐用年数が経過した医療機器等の購入費、及び会計基準の改正に伴い、以前経費としていたリース資産の賃借料から移行したリース債務償還金である。企業債償還金は4億7,647万4千円である。

平成26年度の市立病院の経営成績は、5億6,663万1千円の赤字決算となり、当年度末未処理欠損金は80億1,926万7千円となった。

主な経営指標で前年度と市立病院改革プランの目標数値との比較をしてみると、経常収支比率は95.3%で、前年度比4.2ポイントの減少で、目標値に比べると1.8ポイント下回った。

医業収支比率は81.5%で、前年度比4.3ポイントの減少で、目標値に比べると4.0ポイント下回った。

給与費対医業収益比率は59.3%で、前年度比2.8ポイントの増加で、目標値に比べると4.8ポイント上回った。

材料費対医業収益比率は25.9%で、前年度比1.9ポイントの増加で、目標値に比べると1.7ポイント上回った。

病床利用率は79.3%で、前年度比1.4ポイントの減少で、目標値に比べると3.7ポイント下回った。

地域医療構想、新公立病院改革ガイドライン等医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、公立病院の経営状況は極めて厳しい状況に置かれているが、地域の中核病院として、引き続き経営改善に取り組むとともに、良質な医療を継続して提供できる体制を構築することを期待する。

平成26年度は減価償却費等を除いた単年度の現金ベースでも1億5,993万1千円の赤字となっており、次年度以降の第2次改革プランの実行に期待するものである。

平成26年度の決算審査においては次の点を要望する。

1 経営指標の改善に向けて

市立病院第2次改革プランを策定し、経営改善及び意識改革に努めてきたが、前述のとおり、今年度は5億6,663万1千円の赤字決算となり、当年度末未処理欠損金は80億1,926万7千円となった。単年度の現金ベースでも1億5,993万1千円の赤字となっていることから、会計制度の変更による部分が大きいとはいえ、今後さらに収益の向上と支出の抑制が必要であり、このためまずは第2次改革プランが着実に実行されることを期待する。収益については、地域の中核病院として救急医療へ取り組み、救急車受け入れの増加及び患者紹介率の向上を図り、また、より効率的な病院運営をめざし、病床利用率の増加及び7対1看護体制の維持継続をはじめとする診療報酬の単価アップが図られることを期待するとともに、滞納医業未収金の回収についても一層の努力を望みたい。費用については、引き続き、薬品等の在庫管理の徹底を図るとともに、委託経費についても内容及び方法を十分に精査して経費削減に努めて頂きたい。

また会計基準の見直しにあわせて、現金主義会計から発生主義会計に変更されたことにより、当月の稼動収益を当月の成績として表示し、適正な期間損益計算を通じて迅速な経営判断を期待したい。

2 その他

医療機器の更新に関しては、医療機器選定委員会により適正に進められているものと認められるが、今後は機器更新による効果について、利用状況、診療点数、診療報酬への影響等の分析、検証を行うことにより、経営改善のためのひとつの指標となっていくことを期待するものである。また、議事録等の作成も引き続き継続されたい。

注 主な経営指標については、市立病院第2次改革プランの目標数値と比較するため消費税込の決算数値により算定した。このため、地方財政状況調査に基づく暫定数値とは一致しない場合がある。

参 考

収益的収入及び支出等の推移

(単位：円：%)

内 訳		年 度			対 前 年 度		
		平成 2 6 年度	平成 2 5 年度	平成 2 4 年度	増減額	比率	
医 業 収 益		6,606,359,529	6,508,602,848	6,291,796,621	97,756,681	1.5	
内 訳	入 院 収 益	4,192,826,706	4,214,179,552	4,073,624,328	△ 21,352,846	△ 0.5	
	外 来 収 益	2,166,104,510	2,046,383,768	1,986,660,687	119,720,742	5.9	
	その他医業収益	247,428,313	248,039,528	231,511,606	△ 611,215	△ 0.2	
繰 入 金	一般会計 繰 入 金	負担金 交付金	551,338,000	622,785,000	491,927,000	△ 71,447,000	△ 11.5
		補助金	69,000,000	71,663,000	0	△ 2,663,000	△ 3.7
	国 庫 補 助 金	1,661,000	1,132,000	2,949,000	529,000	46.7	
	都 補 助 金	398,440,000	396,079,000	432,977,000	2,361,000	0.6	
	合 計	1,020,439,000	1,091,659,000	927,853,000	△ 71,220,000	△ 6.5	
	医 業 費 用	8,101,986,467	7,586,850,509	7,276,236,298	515,135,958	6.8	
職 員 給 与 費	3,918,947,444	3,676,023,508	3,603,466,206	242,923,936	6.6		